

同校 OB の悲願、道内 3 高専目での講演です 「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営担当している「技術士を知ろう！」第 8 弾です。

今回は初めての開催となる苫小牧工業高等専門学校 3 年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

道内高専での「技術士を知ろう！」企画は、筆者が青技交の幹事長だった H27 に、旭川・函館の両高専からお話を頂き、開催を実現してきました。

筆者より、H28 の春に苫小牧高専の学科長である栗山教授に講演の打診をしたところ、快諾して頂き H28 の秋に講演会を実施する運びとなりました。

しかし、準備を行っていた 8 月に北海道が大災害に見舞われました。筆者自身を含め、青技交メンバーの多くが災害対応を担当することになり、講演の開催を諦めざるをえなかった経緯があります。

筆者にとっては、まさに悲願の開催となりました。

2. 実施概要

開催日時：H29.12.19(火) 14:50～15:35

講義内容：資格の重要性、技術士とは？

技術士の仕事内容と役割

高専卒業後の仕事、働き方等

対象者：苫小牧工業高等専門学校

環境都市工学科 3 年生 40 名

参加幹事：小澤、木本、西村、千葉(記)

(ミライ研 4 名)

巻口、牧島(青技交 2 名)

3. 資格の重要性、技術士とは？

司会進行をつとめるのは、全国の青技交メンバー

でも名を轟かせる、ミライ研の“安住アナ”こと木本幹事長です。流れるような司会進行は朝飯前。早々に学生の心を掴んでしまうのはさすがの一言です。その良い流れのまま、メインの講演に繋がります。

トップバッターは小澤代表。最近一部で噂されている健康不安など、どこ吹く風。すでに殿堂入りレベルに到達している十八番のプレゼンに、さらに磨きをかけて講演を繰り広げていきます。技術士資格の説明、技術士の役割、資格取得方法、資格を持つことのメリット、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

偶然にも、講演の数日前に技術士の第 1 次試験に合格したばかりの学生がおり、小澤代表の講演に対し、誰よりも深く頷いていたのが印象的でした。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

続いて、日本高圧コンクリート(株)に勤務する牧島技術士(苫小牧高専 OB)より、鋼構造及びコンクリートの技術士として、普段の仕事や技術士を目指した理由、技術士になった後の仕事についての講演を行いました。牧島さんが若手の頃には、高専卒だ

という理由で、周囲からなかなか信頼を得ることが出来なかったそうです。ですが、技術士を取得することで「コンクリートの専門家」として周りから認められ、やりがいや達成感に繋がり、仕事が楽しくなると語っていました。

牧島さんは講演当日の朝5時までプレゼンの練習を行っていたそうで、その甲斐もあって学生たちは熱心に耳を傾けていました。



写真-2 OBとして力が入る牧島技術士

5. 高専卒業後の仕事、働き方等

講演の最後は筆者(苫小牧高専OB)より、高専卒業後の仕事や働き方等を紹介しました。

自身を題材に、就職後の仕事内容や立場の変化。また、資格を取得することで、キャリアアップに変化が起こった経験などについて、裏話も交えながらの講演となりました。

また、高専生だからこそそのメリットや、学生時代にやっておかななくてはならないことなどを、とても熱く語っていた“らしい”です。



写真-3 熱すぎる講演となった千葉技術士(筆者)

6. まとめ

学生からの感想には「今回の講演を聞いて技術士になりたいと思った。」「技術士を取得したら将来の幅が広がるのだと思い勉強してみようかと思いました。」「技術士の資格を持っていたら良いことがたくさんあるなら、努力してでも取るべきだと思った。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、38人中33人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、39人中36人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、「卒業後のことについても話が聞けたので、とてもいい機会になりました。」「今学んでいる基礎知識がとても大切で、勤めてからは自分で学んでいかなければいけないと思いました。」「会ったことの無い先輩が熱く語ってくれて、高専愛が凄まじいと思いました。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価とともに4.9と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。

7. おわりに

本講演にあたり、担任の所准教授、栗山学科長を始め苫小牧高専関係者の方々には、大変お世話になりました。講演後に行った所先生との反省会の場で、早速次年度の講演依頼も頂きました。

筆者にとっては、青技交幹事長の任期を終えてからも、ずっと心残りであった母校での「技術士を知ろう！」講演でした。今回、この講演を成功裏に終えることができ、本当の意味で第14期青技交幹事長の役目を終えることができたと思っています。ミライ研および青技交メンバーの皆様には、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

次年度は、今回同席した巻口技術士(苫小牧高専OB)が、既にプレゼンターに立候補してくれています。今後もよりスケールアップした「技術士を知ろう！」講演を続けていきたいと思えます。引き続き皆様方からのご声援、ご指導よろしくお願い致します。